

第91回全国安全週間を迎えるにあたって

STOP！転倒災害、危なさと向きあおう

愛知労働局長 高崎 真一

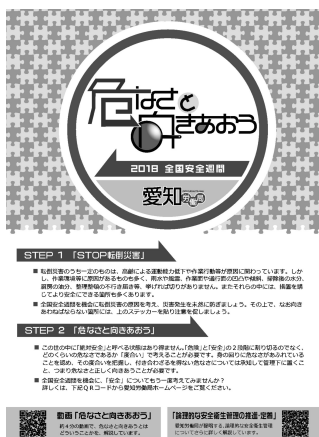
新たな視点でみつめる職場
創意と工夫で安全管理
惜しまぬ努力で築くゼロ災

平成30年度の全国安全週間が、「新たな視点でみつめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」のスローガンの下、7月1日から7日までの間、全国的に展開されます。

全国安全週間は、「人命尊重」という基本理念の下、産業界において「自主的な労働災害防止活動の推進」と「安全意識の高揚と安全活動の定着」が図られることを目的として実施され、広く産業界へ安全の啓発の役割を担い続け、本年度91回目を迎えます。

産業安全に関係する皆様方のご理解の下、各種安全管理活動を通して安全水準は着実に向上していますが、なお多くの労働災害が発生しています。

当局では全国安全週間で、さらなる取り組みとして、「危なさと向きあおう」をキャッチフレーズとして、独自のステッカーを作成して、広く事業場に配布し、『転倒災害防止の意識高揚を図る』こととしています。また、各関係機関及び各災害防止団体に対しても要請を行います。



STEP1「STOP！転倒災害」

- 転倒災害のうち一定のものは、高齢による運動能力低下や作業行動等が原因に関わっています。しかし、作業環境等に原因があるものも多く、雨水や風雪、作業面や通行面の凹凸や傾斜、掃除後の水分、厨房の油分、整理整頓の不行き届き等、挙げれば切りがありません。またそれらの中には、措置を講じてより安全にできる箇所も多くあります。
- 全国安全週間を機会に転倒災害の原因を考え、災害発生を未然に防ぎましょう。その上で、なお向きあわねばならない箇所には、上のステッカーを貼り注意を促しましょう。

STEP2「危なさと向きあおう」

- この世の中に「絶対安全」と呼べる状態はあり得ません。「危険」と「安全」の2段階に割り切るのでなく、どのくらいの危なさであるか「度合い」で考えることが必要です。身の回りに危なさがあふれていることを認め、その度合いを把握し、付き合わざるを得ない危なさについては承知して管理下に置くこと、つまり危なさと正しく向きあうことが必要です。
- 全国安全週間を機会に「安全」についても一度考えてみませんか？
詳しくは、下記QRコードから愛知労働局ホームページをご覧ください。



動画「危なさと向きあおう」

約4分の動画で、危なさと向きあうとはどういうことかを、解説しています。

「論理的な安全衛生管理の推進・定着」

愛知労働局が提唱する、論理的な安全衛生管理についてさらに詳しく解説しています。

